



ふるさと熊石に響け!

## 4月からスタート、熊石小学校・熊石中学校校歌を初披露

2月28日、雲石小学校体育館にて、熊石地区の4小学校と2中学校が閉校し、これに伴い4月から開校する「熊石小学校」と「熊石中学校」の作詞・作曲を務めた俳優・伊吹吾郎さん（熊石泊川町出身）も参加し、校歌披露式が行われました。伊吹さんは、平成27年12月に町から制作依頼を受け、昨年6校を訪問するなど児童生徒から新校歌に入れてほしい言葉など要望を聞き取り作詞・作曲を手掛けました。歌詞には、子ども達が春から迎える学校生活、熊石の情景などが盛り込まれており、伊吹さんは新たな校歌について「皆さんから聞いたお話や、自分が子どもの頃に熊石で過ごした思い出や気持ちなど、校歌に何を入れたら良いか考えながら作りました。卒業後にふるさと熊石から離れても忘れずに歌ってほしい。地域に役立つことができ嬉しいです」と歌への強い思いを語りました。校歌は、伊吹さんと学校関係者らがピアノ演奏に合わせ歌って初披露され、最後には、来場者全員で大合唱を行いました。熊石第二中の生徒会の相原美海さん（生徒会長、2年）、土谷真優さん（副会長、2年）、能登谷夢月さん（書記、1年）は、新しく迎える学校生活や新校歌について「新しい同級生達と修学旅行で楽しんだり受験を一緒に頑張りたい」「新しい校歌は熊石の風景が浮かぶ」「伊吹さんが作ってくれたことを大事にし、兄弟などにも歌を伝えていきたい」と笑顔で語りました。

熊石小学校 校歌  
作詞・作曲 伊吹吾郎

一 空 仰げば 香空高く  
みんなの心も 晴れやかだ  
さあ 一緒に 手を取り歩もうよ  
学びの楽しさ 分かち合い  
笑顔があふれる 熊石小学校

二 山 ほるかに 雲石峰  
霧が流れて そびえる連山  
さあ みんなで 肩組み歌おうよ  
声高らかに 弾ませて  
夢が広がる 熊石小学校

三 海 朝な夕な きと波響く  
飛び立つ翼も 軽やかに  
さあ 進もう 世界の海原へ  
踏み出す一歩に 力込め  
歩もう元気に 熊石小学校

熊石中学校 校歌  
作詞・作曲 伊吹吾郎

一 晴れわたる 日本海  
揺れる水面に 潮の香流る  
桜並木に 響く歌声  
ふるさと熊石 我らの誇り  
友と受け継ぐ 熊石中学校

二 深緑に 輝く緑線  
見市漂たる 歴史の重さ  
川のせせらぎ 心の息吹  
ふるさと熊石 希望の灯  
友と築こう 明日の礎を

三 星影に 降る雪清し  
はるかに思はん 先祖の偉業  
知恵と勇氣に 新たな決意  
ふるさと熊石 幸よぶ所  
友と語らん 未来の道標



## ふれあいと交流! 手作りの演芸会! 第26回高齢者ふれあい演芸会

2月18日、高齢者ふれあい演芸会（熊石老人クラブ連合会主催）が、ふれあい交流センターくまいし館で開催され、熊石地域の老人クラブ会員、八雲老人クラブ連合会員のほか、応援出演として熊石保育園と相沼保育園の園児など約300名が参加しました。毎年、熊石地域の高齢者が自ら企画、参加する手づくりの演芸会で、この日は趣向を凝らした踊りや歌など32演目が披露され、参加者は楽しく、和やかな一日を過ごしました。

